

この度はセイコー 置時計 電波クロックをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容をよくご理解いただき、本製品を末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

必ずお守りください。 安全上のご注意

警告 死亡または重傷を負う恐れがある内容

＜アルカリ電池について＞

- (1) 充電、ショート、変形、分解、加熱、火中に投入などをしないでください。液漏れや発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。また、目に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

＜梱包用ポリ袋について＞

窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。

注意 けがをしたり家財に損害を与える恐れがある内容

＜製品の設置場所について＞

落下や転倒により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には本製品を設置しないでください。

＜引き出しについて＞

引き出しを開けた状態で、引き出しに上から力をかけないでください。前に倒れる危険があります。

※ 次ページへ続きます。 P 2



注 意

けがをしたり家財に損害を与える恐れがある内容

＜電池について＞

下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂により、本製品の故障やけがの恐れがあります。

- (1) 製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、本製品がまだ動いていても、すべて新しい電池と交換してください。また、本製品を使わないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておくと、寿命の切れた電池からの液漏れなどにより、本製品や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (2) 電池は必ず⊖側から入れてください。また、⊕⊖を正しく入れてください。
- (3) 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破裂の恐れがあります。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けたりしないでください。
- (5) 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。
また、使用済みの電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
- (6) 本製品が動かないなどの場合、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。
- (7) 付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。
- (8) 充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

＜製品と電池の廃棄について＞

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

＜分解や改造をしない＞※時計のデザインは異なる場合があります。

本製品を分解したり、改造したりしないでください。本製品の故障やけがの恐れがあります。

＜移動・運搬について＞

本製品は重量があるため、移動や運搬をするときには十分お気をつけください。腰などを痛めたり、落下によるけがの恐れがあります。

必ずお読みになってからご使用ください

使用上のご注意

- 本製品にはマイコンが内蔵されています。静電気などにより誤動作することがありますが、故障ではありません。誤動作した場合は、リセットボタンを押してください。
- リセットボタンを押した場合は、時刻などがリセットされます。
- 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。
- 海外でご使用の場合も日本の電波を受信することがあります。その場合は自動受信を止めて手動で時刻を合わせてください。

必ずお読みになってからご使用ください

使用場所について

下記のような場所では使用しないでください。本製品や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。

また、本製品は業務用ではありません。

- 温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。
（例）屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が－10℃以下になる所。
プラスチック製の部品や電池が劣化することがあります。
- ちり・ほこりの多い所。
空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まり、時計が止まる場合があります。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
磁力の影響で、進み・遅れが生じたり、時計が止まる場合があります。
- 浴室など湿度が多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所
霧状になった油分が時計の歯車などに付着し、時計が止まる場合があります。
- 振動のある所。不安定な所。

- ビニール系素材の壁、敷物などの上。
壁や敷物、および本製品が汚れたり傷むことがあります。
 - 温度や湿度の変化が激しい所。
寒い所から暖かい所への移動などにより、結露が生じることがあります。
 - 木製の部品は、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、部品が傷むことがあります。また、40℃以上の高温になると、接合部が変形したり損傷することがあります。
 - 乳幼児の手の届く所。
- 本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際は、できるだけ標準電波を受けやすい窓際などに設置してください。なお、天候、時間帯、建物の影響など、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。
- ビルの中、ビルの谷間、地下
 - 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く
 - 冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く
 - 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害が起きやすい所
 - 乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
 - スチール机など、金属製の家具の上や近く
 - その他、電波ノイズを発生させるものの近く
- ※ 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で動作します。

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは？

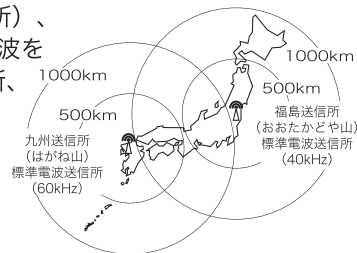
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に時刻を修正・表示します。

■標準電波とは？

情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■電波の受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2カ所）から、おおむね1000 km～1200 kmです。この製品は、40 kHz（東・福島送信所）、60 kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し、受信します。ただし、天候、設置場所、時計の向き、時間帯、地形、建物の影響などによって、受信できない場合があります。



■ご注意

- 電波障害などによって、誤った時刻が表示される場合があります。また、設置場所や電波状況によっては受信できないことがあります。そのようなときは、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で動作します。
- 標準電波は、毎時15分と45分から各1分間是一部の時刻情報の送信が中断されます。また、設備のメンテナンスや落雷などの影響により電波の送信が停止（停波）することがあります。停波に関する情報は、情報通信研究機構日本標準時グループのホームページをご覧ください。
(ホームページアドレス <https://jjy.nict.go.jp/>)

お手入れについて

● 汚れやほこりを取るときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。

※お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。

付属品 ▶ 万が一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

ご使用の前に確認してください。

●取扱説明書（本書）1冊

●保証書 1冊

●手袋 1双

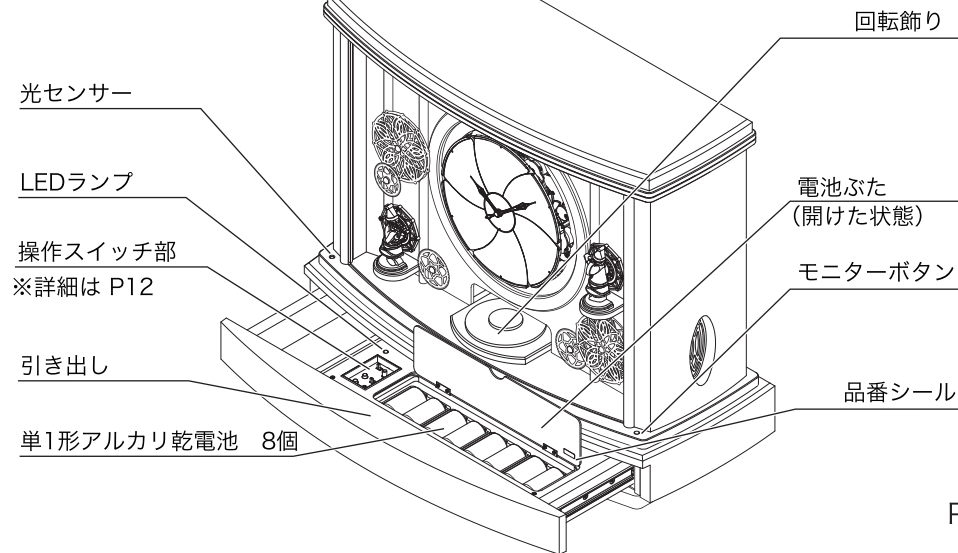
●クロス 1枚

●単1形アルカリ乾電池 8個

各部の名前（全体図）▶

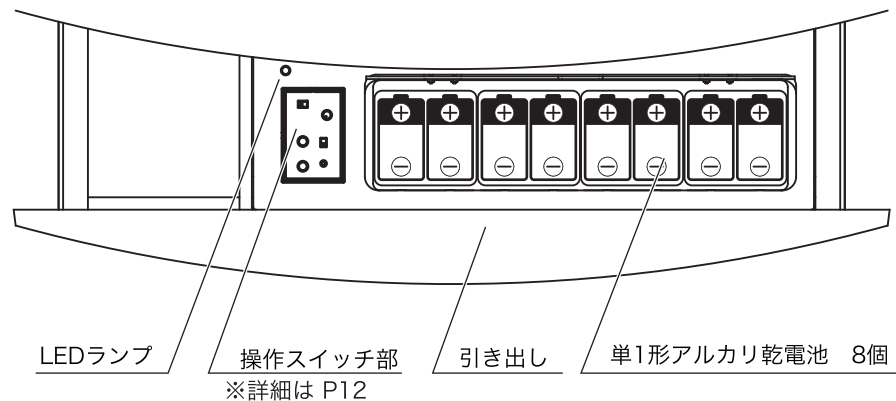
【引き出しを開けた状態】

※時計のデザインは実際の製品と異なる場合があります。



各部の名前（詳細図）▶

【引き出し内部】 上から見た図（電池ぶたを開けた状態）



【操作スイッチ部】

自動電波受信 入／切 スイッチ

音量調節つまみ

Bボタン

切 ☐ 入
自動受信

メロディ 入／切 スイッチ

Aボタン

小 音量 大
入 ☐ 切
メロディ

リセットボタン

リセット

ご使用方法 ▶ 以下の手順に従って操作してください。

① 電池を入れる(単一形アルカリ乾電池 8個)

引き出しを開けてください。引き出し内の電池ぶたを開けて、側から電池を入れてください。

注意

- ・電池の   の向きを間違えないように注意してください。
- ・種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- ・充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

※電池を入れると、すぐに回転飾りが動きます。

② リセットボタンを押す

受信を開始し、現在の時刻に調整されます。

自動電波受信 入/切 スイッチが入であることを確認して、リセットボタンを押してください。

- ・針が下記の時刻のいずれかで一時停止し、電波の受信を開始します。
(4時0分、8時0分、12時0分)
- ・受信に必要な時間は最長約20分です。

重要

電池の交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

※リセットボタンは先の細いもので押してください。

※夜間は昼間よりも受信状態が良くなります。昼間に受信できなかった場合でも、翌日までに自動で受信できることがあります。

 詳しくは、P7『電波クロックについて』をご覧ください。

受信に成功した場合

自動で時針と分針が現在の時刻に調整されます。

受信できなかった場合

針の一時停止が解除され、針が動き始めます。このとき、時刻修正は行いません。



P15『電波を受信できなかった場合』の手順に従って、手動で時刻を合わせてください。

③ 受信結果を確認する

通常のご使用中にAボタンを1回押すと、以下のようにLEDランプの点滅状態によって、電波の受信結果が表示されます。

ゆっくりと点滅	過去24時間以内に受信に成功しています。
早く点滅	過去24時間以内に一度も受信できていません。

ご使用方法（続き）▶

電波を受信できなかった場合

■手動で電波を受信して時刻を合わせる

① Aボタンを長く押す（約2秒）

- LEDランプが点灯するまで押し続けてください。
しばらくすると針が停止し、受信を開始します。
- ・受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。

■手動で時刻を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。
リセットボタンを押す、もしくはAボタンを長押しした直後の場合は、30分以上経ってから操作してください。

① Bボタンを長く押す（約3秒）

② Aボタンを押して時刻を合わせる

- ボタンを1回押すごとに、分針が1分進みます。
- ボタンを押し続けると、ボタンを放すまで分針が連続で進み続けます。

③ Bボタンを押す

- ボタンを押すと、時計が動き出します。（10秒後に時分針が動き出します）
- ※5分以上ボタンを操作しない場合は、自動的に針が動き出します。

自動受信について

- 毎日、午前2時に自動で電波を受信します。
- ・以後は3時間ごとに電波の受信を繰り返します。（1日8回）

電波を受信させない場合

海外で使用する場合や、時刻をずらして使用したい場合は、以下の手順で自動受信を止めてください。

① 自動電波受信 入／切 スイッチを切にする。

メモ

- ・自動受信を止めても、手動で受信を実施すると電波の受信を開始します。（その後、自動受信は行わず、内蔵クォーツの精度で動作します）
- ・自動受信を再開したいときは、自動電波受信 入／切 スイッチを入にしてください。

② P15『手動で時刻を合わせる』の手順に従って時刻を合わせる

ご使用方法（続き）▶

④ 正時（毎時0分）にメロディを鳴らす/鳴らさない

メロディ 入／切 スイッチを切り替えてください。

入	正時になると報時動作（メロディ演奏とパフォーマンス）を行います。 （メロディは、正時になるたびに切り替わります）
切	正時になっても報時動作を行いません。

※暗い時は光センサーにより、報時動作を行いません。（自動鳴止機能）

切り替え後、引き出しを閉めてください。

引き出しを閉める際は指をはさまないよう十分注意してください。

メロディを鳴らす場合

■ 音量を調節する

音量調節つまみでメロディ演奏の音量を調節できます。

小の方向に回す（反時計回り）と、音量が小さくなります。

大の方向に回す（時計回り）と、音量が大きくなります。

- ・ モニターボタンを押すと、設定した音量でメロディが鳴ります。音量調節つまみを回して、お好みの音量に調節してください。

※調節中にメロディを途中で止めたい場合は、メロディ 入／切 スイッチをいったん切にしてください。

※鳴らすメロディを選ぶことはできません。あらかじめ設定されている曲が順に流れます。



詳しくは、下記『便利な機能』の『モニター機能について』をご覧ください。

便利な機能

● モニター機能について

モニターボタンを押すと、時刻に関係なく報時動作（メロディ演奏とパフォーマンス）を行います。また、演奏中にモニターボタンを押すたびに曲が切り替わります。

● 鑑賞モードについて

モニターボタンを約3秒間押すと、文字板を開いた状態のままご使用いただけます。

- ・ 鑑賞モード中でも時計は通常どおり動きます。メロディ 入／切 スイッチが入のときは毎正時（毎時0分）に報時動作（メロディ演奏とパフォーマンス）を行います。
- ・ この設定を解除するには、再度モニターボタンを約3秒間押してください。文字板を閉じた状態に戻ります。

故障かな？と思ったときは ▶

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。
なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症 状	考えられる原因	処 置
針が動かない	・電池が入っていない。	・新しい電池を、向きを確かめながら入れて、リセットボタンを押してください。
	・電池が正しい向きに入っていない。	・電池を正しく入れ直して、確実にリセットボタンを押してください。
	・電池の端子や電池ボックスの接片が汚れている。	・電池の端子や電池ボックスの接片の表面を拭いてください。 また、電池を入れた後、電池を2～3回転させてください。
	・静電気などにより、マイコンが誤作動している。	・リセットボタンを押してください。
	・電波の受信中、または時刻修正中である。	・受信終了後、通常の動作に戻ります。
針が不規則に動く	・電波の受信中、または時刻修正中である。	・受信終了後、通常の動作に戻ります。
ボタンやスイッチの操作が効かない	・電波の受信に成功し、時刻の修正中である。 ・リセット後の、電波の受信中である。	・時刻の修正動作が終了してから、再度ボタンやスイッチを操作してください。

症 状	考えられる原因	処 置
時刻が合っていない	・電波の受信が成功していない。	・P15『電波を受信できなかった場合』を参照し、再度受信させてください。
	・自動電波受信 入／切 スイッチが切になっている。	・スイッチを入にしてください。
	・電池の容量が少なくなっている。	・新しい電池を、向きを確かめながら入れて、リセットボタンを押してください。
	・きちんとリセットされていない。	・リセットボタンを確実に押してください。
報時しない	・メロディ 入／切 スイッチが切になっている。	・スイッチを入にしてください。
	・光センサーによる自動鳴止機能が作動している。	・室内を明るくすると報時します。
回転飾りが動かない	・電池が入っていない。 ・電池の容量が少なくなっている。	・新しい電池を、向きを確かめながら入れて、リセットボタンを押してください。
	・時計が傾いている。	・時計を水平にしてください。
文字板が開いたまま閉じない	・鑑賞モードになっている。	・モニターボタンを約3秒間押して、鑑賞モードを解除してください。 (P18『鑑賞モードについて』)

製品仕様 ▶ 改良のため予告なく変更する場合があります。

- 時 間 精 度： 平均月差±20秒
（電波受信による時刻修正を行わない場合・気温5℃～35℃で使用した場合）
- 使用温度範囲： -10℃～50℃
- 使 用 電 池： 単1形アルカリ乾電池（LR20） 8個
- 電 池 寿 命： 約1年
※1日あたり、16回の報時動作を行った場合（音量「中」のとき）
- 受 信 機 能： ・自動受信… 毎日午前2時、以後3時間ごとに受信
（受信から次の受信まではクォーツの精度で動作）
・手動受信… ボタン操作による
2つの電波（40 k Hz/60 k Hz）のうち最適な方を選択し、受信します。
- 時刻合わせ機能： 電波受信による自動セット、または手動セット
- 音 量 調 節： 無段階式
- 報 時： 正時（毎時0分）にメロディ演奏（曲自動送り）
- 受信結果確認機能： ボタン操作により、LEDランプで表示
- 光センサーによる
自動鳴止機能：暗くなると報時動作を停止します。

※電池の寿命はご使用の条件によって変わります。

※指針（針の表示）誤差について：構造上、若干の指針誤差が生じる場合があります。

保証・アフターサービス ▶

- 本製品はメーカー保証です。
保証の内容については付属の保証書をご覧ください。**なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。海外でのアフターサービスは受けできません。**（This warranty is valid only in Japan.）
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がお預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品または再生品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 本製品の修理用部品は、製造終了後7年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な製品本体の部品です。
なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。修理可能な場合でも、元どおりの精度や外観にならない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- 有料修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場とへの間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- ご不明な点は、クロックお客様相談室にお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。

本製品によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。

この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明な点がございましたら、引き出し内の電池ふた裏面に表示してあります製品番号（品番）をご確認のうえ、下記クロックお客様相談室にお問い合わせください。

（例：FS〇〇〇、AZ〇〇〇など）

クロックお客様相談室 0120-315-474

<https://www.seikowatches.com/jp-ja/>

発売元

セイコーウォッチ株式会社

説明書番号 AFS-012W-N

SEIKO

置時計 電波クロック
取扱説明書